

登録コード	L2981200		開講年度	2026			
担当教員	他			副担当	飯岡 詩朗		
授業科目	英語科指導法						
英文授業名	Methods in Teaching English Literature						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力				英語という言葉システムの基礎ならびに英語教育の基礎が身につく。		
	【2022年度以前加付対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力				国際理解の基礎ならびにそれと英語能力によって発信する基礎が身につく。		
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	授業参加者による模擬授業とディスカッション、相互評価を毎回行います。 さらに、中学等に赴き、授業参観、また教員や生徒とのディスカッションを通じて、英語教育の実践力を身につけ現場の現状を認識する機会とします。						
授業計画	2026年度は前期集中（土日開講）で準備しています（確定したら情報を更新しますのでしばらくお待ちください）。 以下は昨年度の実施概要（参考）です。 第1回：指導計画と指導手順 第2回：文法指導について 第3回：英語スキル育成（2）リーディング 第4回：ミニティーチング実践 第5回：英語スキル育成（3）ライティング 第6回：4技能統合型の授業 第7回：模擬授業と改善のためのディスカッション(1) 第8回：模擬授業と改善のためのディスカッション(2) 第9回：模擬授業と改善のためのディスカッション(3) 第10回：まとめ 英語教師としての自己診断と課題について考える 第11回：Material Development（1） 第12回：Material Development（2） 第13回：Teaching Grammar 第14回：Using Corpus for Teaching 第15回：Teaching Grammar、授業アンケート 宮浦先生担当日程 9月18日(木) 3限～5限、9月19日(金) 2限～4限、10月11日(土) 2限～5限 笹先生担当日程 11月8日(土)2限～4限、11月16日(日)1限～2限						
成績評価の方法	授業内での貢献度（議論、発表）60%、試験40%で評価します。						
成績評価の基準	教科書および講義内容を理解した上で教案が作成できれば「標準にある」と評価します。教科書および講義内容を理解した上でオリジナルな工夫のある教案が作成できれば「やや上にある」と評価します。以上に加え、教案をもとに模擬授業を実践できれば「かなり上にある」と評価します。さらに、ディスカッションでの発言など授業内の貢献度ができれば「卓越している」と評価します。						
事前事後学習の内容	教科書と参考書を反復熟読し、また授業内でのディスカッションをふまえ、様々な角度から、英語教育における問題点と課題をひとりひとりが常に考え、論理的に説明できる準備をしてください。						
履修上の注意	IとIIをセットで履修してください。また、しっかり準備をした上で授業にのぞんでください。 ＊授業は集中で開講され、週末や休業期間に（夏休みなど）に授業が行われますので、そのことを承知を上で履修してください。						
質問、相談への対応	授業内で伝えます。						
教科書	白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則『英語教育用語辞典』第3版、大修館書店、2019年 https://www.taishukan.co.jp/book/b471929.html JACET教育問題研究会編『行動志向の英語科教育の基礎と実践―教師は成長する―』、三修社、2017年 https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384058765/						

参考書	授業内で指示します。
-----	------------